

平成23年度厚生年金基金の予算2023

1. 平成22年度決算見込み、平成23年度事業計画及び予算(年金経理、業務経理)について

平成22年度の年金経理の決算見込みについては、将来分の返上が2月1日付けで認可されましたので、掛金の基本部分の2月、3月分は国への納付となる為、収入総額は3億1,900万円、支出総額は4億1,200万円となります。又、年度末の資産は47億9,500万円(未払金3,900万円含む)、数理債務19億2,000万円、最低責任準備金は30億2,800万円となります。運用収益については、年初運用見込みは4.69%で2億2,000万円となる計画でスタートしましたが、期中ではギリシャ問題等で国内株の低下や円高に向かいました。又、日本生命の特別勘定を11月29日、第一生命の特別勘定を11月24日に一般勘定に移行いたしましたので結果として、日本生命の年度末の読み▲3.91%、第一生命▲4.19%、三菱UFJ信託の読み0.4%、全体としては▲3.25%で▲1億5,500万円の運用損失となります。

平成23年度予算については、掛金の基本部分が移行したため、当基金

2. その他報告

代行返上について
代行部分の返上申請の進捗について、昨年11月9日に申請しておりますが、代行部分の将来分返上申請の結果が2月1日付けで認可されましたので、ご報告させて頂きます。改めて皆様方のご協力に感謝申し上げます。

先日、2月7日には企業年金連合会より返上後の事務手続き等の説明を受けました。今後の予定と致しまして、2月分の掛金より基金経由の支払いではなく、各事業所より直接厚生年金の支払いをして頂く事になります。次に過去分の返上の為に国の記録と当基金の記録を突き合せ、国庫返還金の額の計算作業に入っております。その間に次の確定給付企業年金での年金受給の場合の利率2.00%、15年確定への変更等に関する了承の同意署名を、各事業所の皆様に頂く予定です。過去分の返上認可がおりますと、現加入員、受給者、待期脱退者の方々への付加部分の精算等をして行く予定です。再度、皆様方のご協力をお願いする事になると思いますので、宜しくお願い致します。

での収入は加算部分と運用収益となり、収入総額は2億3,900万円となり、支出総額は2億3,900万円(未払金4,000万円含む)、数理債務は2億3,400万円、最低責任準備金は30億2,900万円となります。基金の代行部分の返上認可申請に伴い確定給付企業年金に移行するので運用にしましては、日本生命、第一生命は一般勘定のみ0.75%で運用し、三菱UFJ信託にしましては国庫返還(過去分代行額の返還)までの期間は年度目標の4.8%で運用し、6,900万円の運用収益になります。

業務経理の決算見込みについては、収入総額は11,485千円、支出総額は9,267千円、2,218千円の当年度剰余金となり年度末の繰越剰余金は72,558千円となります。

平成23年度の予算については、収入総額11,753千円、支出総額10,019千円となり、1,734千円の当年度剰余金となります。その結果、年度末の繰越剰余金は74,292千円となります。

委託先別運用予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

委託先	期末資産	シェア	総合収益	修正総合利回り
日本生命(特別勘定)	0	0	-92,280,853	-5.25
第一生命(特別勘定)	0	0	-78,685,396	-4.44
日本生命(一般勘定)	2,182,126,537	45.7	6,829,810	0.75
第一生命(一般勘定)	1,745,669,806	36.6	5,463,607	0.75
三菱UFJ信託	849,507,033	17.7	3,301,751	0.40
計	4,777,303,376	100.0	-155,371,081	-3.25

市場指標と運用

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度予想	平成23年度予想
日経平均株価	17,288	12,526	8,109	11,089	11,000	11,500
新発10年国債	1.65	1.28	1.35	1.39	1.20	1.40
NYダウ	12,354	12,263	7,608	10,856	11,600	12,100
米国10年債	4.65	3.43	2.67	3.84	3.20	3.50
円/ドル	118.07	99.53	98.77	93.44	86.00	89.00
運用結果	239,502,864	-662,224,289	-948,973,639	655,066,243	-155,371,081	69,360,803

年金経理

●予定損益計算書 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日 (千円)

費用勘定		収益勘定	
科目	予算額	科目	予算額
1.経常収支			
年金給付	34,874	掛金収入	106,099
一時金給付	119,465	政府負担金	1,558
移換金	65,561	運用収益	69,361
運用報酬等	10,428		
業務委託費	7,949		
指定年金数理人費	703		
拠出金	147		
計	239,127	計	177,018
2.数理的評価の変動			
数理債務増加額	114,173	数理債務減少額	0
最低責任準備金(継続基準)増加額	1,114	最低責任準備金(継続基準)減少額	0
計	115,287	計	0
3.基本金			
当年度剰余金	0	当年度不足金	177,396
計	0	計	177,396
総合計	354,414	総合計	354,414

(補足)純資産とは現在積み立てられている年金資産のこと。そして、数理債務とはプラスアルファ部分の債務、最低責任準備金とは代行部分の債務であり、合計の給付債務は将来支給する年金のために準備しておかなければならない資産額のことです。

業務経理

●予定損益計算書 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日 (千円)

費用勘定		収益勘定	
科目	予算額	科目	予算額
事務費	9,748	掛金収入	11,723
雑支出	271	雑収入	30
当年度剰余金	1,734		
計	11,753	計	11,753

●予定貸借対照表 平成24年3月31日現在 (千円)

資産勘定		負債勘定	
科目	予算額	科目	予算額
1.純資産			
現金・預貯金	8,841	未払運用報酬等	1,939
未収掛金	8,842	未払給付費	15,768
未収政府負担金	260	未払移換金	21,854
信託資産	869,619		
保険資産	3,846,199		
計	4,733,761	計	39,561
2.負債の数理的評価			
		数理債務	2,033,985
		最低責任準備金(継続基準)	3,029,426
計		計	5,063,411
3.基本金			
繰越不足金	191,815	当年度剰余金	0
当年度不足金	177,396		
計	369,211	計	0
総合計	5,102,972	総合計	5,102,972

●予定貸借対照表 平成24年3月31日現在 (千円)

資産勘定		負債勘定	
科目	予算額	科目	予算額
現金・預貯金	73,315	繰越剰余金	72,558
未収事務費掛金	977	当年度剰余金	1,734
計	74,292	計	74,292

予算基礎数値

●加入員に関する事項 基本部分 2,171人(男性355人、女性1,816人) 加算部分 1,501人(男性337人、女性1,164人)	●年金及び一時金給付に関する事項 年金 84人 34,874千円 脱退一時金 107人 37,564千円 選択一時金 42人 81,901千円	●予定利率 5.5% ●時価ベース利回り 1.47% ●基本標準掛金率 0.0% ●加算標準掛金率 3.9%
●平均給与に関する事項 基本部分 246,578円 (男性372,608円、女性221,942円) 加算部分 151,038円 (男性243,264円、女性124,338円) 総標準賞与額 1,747,968千円	●中途脱退者に関する事項 中途脱退者移換金 350人 65,561千円	